

- デジタル領域の差別化成功と大型契約の獲得で、2020 年度業界トップクラスの成長を達成
- 2021 年度の収益成長率は 2 桁成長となる 12%～14%を予測
- 920 億ルピー (12.3 億ドル) の自社株買いと 640 億ルピー (8.5 億ドル) の最終配当を発表

バンガロール (インド) – 2021 年 4 月 14 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーであるインフォシス (NSE、BSE、NYSE: INFY) は 2020 年度の業績を発表し、実質ベースの通期の成長率は 5.0%、第 4 四半期の成長率は 9.6%に上昇し、激動する経済環境の中での好調な業績を報告しました。2020 年度の大型案件の合計契約金額は過去最高の 141 億ドルに達し、うち 66%を新規獲得契約が占めました。通期の営業利益率は 3.2%改善し、フリーキャッシュフローは 38.5%上昇しました。取締役会は、640 億ルピー (約 8.5 億ドル) の最終配当および 920 億ルピー (約 12.3 億ドル) の市場価格での自社株買いを含む、1560 億ルピー (約 20.8 億ドル) の資本返還を提言しました。

「当期の業績を非常に喜ばしく思います。極めて厳しい環境の中で、従業員が見せてくれた情熱とコミットメントをこの上なく誇らしく感じます。当社は 2020 年度の売上高のマイルストーンである 1 兆ルピーを達成しました。お客様が今ここで必要とするサービスへの注力、Infosys Cobalt™ をはじめとする差別化された能力によるデジタルポートフォリオの拡充、そして従業員へのエンパワメントによって、当社は世界中の顧客から「契約したいパートナー」として選ばれるに至りました。当社のこれまでで最大となる大型契約の獲得は、こうしたアプローチの有効性を雄弁に物語っています」と、**最高経営責任者兼取締役の Salil Parekh は述べ**、さらに「顧客のデジタル・ジャーニーの加速を重視する戦略に加え、2020 年度末にこうした力強い推進力を得たことから、2021 年度の業績がいっそう好調であることを確信しています」と述べています。

前年第4四半期比 34.4% 通期29.4% 実質ベースのデジタル成長率	前年第4四半期比 9.6% 通期5.0% 実質ベースの収益成長率	第4四半期 24.5% 通期24.5% 営業利益率	通期17.0% EPS の増加 (ルピー建て)	第4四半期 21億ドル 通期141億ドル 大規模取引締結
--	--	---	--------------------------------------	--

2021 年度見通し:

- 収益成長予測範囲は実質ベースで 12%～14%
- 営業利益率予測範囲は 22%～24%

第 4 四半期で、インフォシスは特に Infosys Cobalt™ クラウドポートフォリオについて引き続きデジタル能力の拡充を実施し、対話型 AI に関する LivePerson とのパートナーシップ契約締結を発表しました。このパートナーシップにより、AI による顧客や従業員との対話の実現を促進します。また、NVIDIA DGX A100 システムを活用した独自の応用 AI クラ

ウドを構築しました。AI インフラストラクチャへのシンプルで高速なアクセスを従業員に提供し、企業の AI 駆動型変革の推進に求められる能力を強化します。

第 4 四半期に、インフォシスは米国 Ethisphere Institute が選ぶ 2021 年の世界で最も倫理的な企業 (World's Most Ethical Companies in 2021) に認定され、またウォールストリートジャーナルによる 2021 年の世界で最も持続可能な経営を行う企業ランキング (2021 List of 100 Most Sustainably Managed Companies in the World) で上位 30 社にランクインしました。

1. 2020 年度第 4 四半期および通期の主な業績

2020 年度第 4 四半期

実質ベースの売上高は前年同期比 9.6%増、前四半期比 2.0%増

報告売上高は 36.13 億ドル、前年同期比 13.0%増

デジタル売上高は総売上高の 51.5%、前年同期比成長率は実質ベースで 34.4%

営業利益率は 24.5%、前年同期比 3.4%増、前四半期比 0.9%減

基本 EPS は 0.16 ドル、前年同期比 18.0%増

フリーキャッシュフローは 7.99 億ドル、前年同期比 34.7%増、フリーキャッシュフロー・コンバージョンは純利益の 114.6%

2020 年度通期

実質ベースの売上高は前年比 5.0%増

報告売上高は 135.61 億ドル、前年比 6.1%増

デジタル売上高は総売上高の 48.5%、前年比成長率は実質ベースで 29.4%

営業利益率は 24.5%、前年比 3.2%改善

基本 EPS は 0.62 ドル、前年比 12.5%増

フリーキャッシュフローは 29.73 億ドル、前年比 38.5%増、フリーキャッシュフロー・コンバージョンは純利益の 113.3%

「社会が混乱を極める中、当社は滞りなく、さまざまなバーティカルに及ぶ事業を幅広く推進し続けています。このことが、季節的に低調な四半期にありながらビジネスの量的拡大と記録的な稼働率につながりました」と、**最高執行責任者の Pravin Rao** は述べ、さらに「当社従業員はパンデミック期間中のリモートワークを継続しており、対象となる従業員へのワクチン接種の支援を含め、当社は引き続き従業員の健康を重視しています。力強い需要環境を背景に、こうしたデメリ

ットからはすでに回復していますが、当社は引き続き従業員エンゲージメントの取り組み、豊富な人材プール、トレーニング能力により、滞りなく確実に事業を推進できると確信しています」と述べています。

「2020 年度は堅調な業績と売上高、利益率、フリーキャッシュフローに支えられ、高い株主還元を行った画期的な年になりました」と、**最高財務責任者の Nilanjan Roy** は述べ、さらに「当社の資本配分方針を実行し、1 株あたり配当総額の前年比 54%増と、最大 920 億ルピーに上る普通株の自社株買いを提言します」と述べています。

2. 資本配分

2021 年 4 月 14 日に開催された取締役会において、以下の内容が承認されました。

- 次回株主総会での株主の承認を条件とする、インド証券取引所を通じた公開市場での 1 株あたり 1750 ルピーを超えない価格（最大買戻し価格）（1ADS あたり約 23.3 ドル*）での 920 億ルピー（最大買戻し規模、買戻し税を除く）（約 12.3 億ドル*）の普通株の自社株買い。
- 2020 年度について、取締役会は 1 株あたり 15 ルピー（1ADS あたり 0.20 ドル*）の最終配当を提言しました。支払い済みの 1 株あたり 12 ルピーの中間配当と合わせた 2020 年度の配当総額は 27 ルピー（1ADS あたり約 0.36 ドル*）となり、2019 年度から 54%増加しました。これにより、当社が発表した 2020 年度の配当総額は 1150 億ルピー（約 15.3 億ドル*）となります。

*為替レート 1 米国ドル=75.00 インドルピー

3. 顧客の獲得と証言

顧客から寄せられるインフォシスへの信頼は、より強力なデジタル能力の構築と卓越したデリバリー水準のさらなる向上に向けて、当社が行う投資の原動力となるものです。

- **スピリット・アエロシステムズ社の上級副社長兼最高執務責任者の Sam Marnick 氏**は次のように述べています。「当社の事業のいっそうの多様化と、スピリット・アエロシステムズが将来に向けて描く戦略的ポジショニングへの取り組みにおいて、インフォシスと協同することを楽しみにしています。当社とインフォシスの間で長年にわたり培われた関係性と、同社がこれまでにスピリットの数々の戦略的プロジェクトに対し行ってきた助力に感謝しています」と述べています。
- **シーメンスガメサ社の最高情報責任者の Alan Feeley 氏**は次のように述べています。「全事業部と地域に S/4HANA システムを単独で導入することは、当社のプロセス効率化、標準化、産業化に向けた全社的な戦略の中核的な要素です。今回の 7 か国における初回の本稼働はあらゆる業務タイプをサポートしており、グリーンフィールド・アプローチの価値を証明するものでした。インフォシスを起用したことで、ハイブリッド Azure クラウドを中心に安定した生産的な環境を構築できました。この単独・グローバル導入により、「標準からの変更ほぼゼロ」アプローチが提供され、持続可能な費用管理と将来に備えたアップグレードに向けて確信が得られました。インフォシスはすばらしい「粘り強さ」を発揮して強固な製品を提供してくれ、同時に、パートナーに対する当社の期待を完全に果たしてくれました。」
- 「当社の各地域を結ぶサプライチェーンプロセスの標準化とデジタル化において、インフォシス BPM とのパートナーシップを継続することを喜ばしく思います。インフォシス BPM の力強いリーダーシップによるコミットメントと当社のオペレーションの明確な理解により、多大な生産性向上、サービスレベルの向上、費用削減が実現します。」と、**ニューモント・コーポレーションのサプライチェーン・グループ担当役員の Ryan Plourde 氏**は述べています。
- **Chalhoub Group の最高財務責任者の Paolo Lomonaco 氏**は次のように述べています。「当社のデジタル変革ジャーニーの高速化と、ポスト・コロナ時代の日常における新たなビジネスモデルへのシームレスな移行に向けて、インフォシスとの戦略的協同が拡大することを大いに喜んでいます。インフォシスは当社が選んだパートナーとして、ほぼ 1 年間にわたり幅広くテクノロジーサービスを提供し、前例のない状況下での移行プロジェクトを効率的にマネジメントしてきました。インフォシスが持つ賢者の知恵と、最高水準のリテール・テクノロジーの明確な理解を活用し、デジタルコマースの拡大とオペレーション効率の向上を実現することを楽しみにしています。」
- 「マースインコーポレーテッドと世界の名だたる AI エキスパートを迎えた初の 2020 年 12 月の Mars AI バーチアルフェスティバル開催において、当社とインフォシスの協同が実現しました。8000 名のアソシエートとビジネス関係者が出席し地域を越えて拡散する、さまざまなビジネスのセグメントに及ぶイベントには、その開催規模に対応できるだけでなく、シームレスで没入感のある、エンゲージメント型の体験を提供できるプラットフォームが必要でした。そこで、インフォシスの Meridian プラットフォームが提供されました。インフォシスの Meridian ワークスペース・

エコシステムにより、世界中の参加者同士のインタラクションとコラボレーションを推進することができました。26 個のキオスク、スピーカー・ハングアウトエリア、Twitter ボード、たくさんのゲーム、リーダーボード、デジタル似顔絵コーナー、ライブ DJ をはじめとする没入型介入をうまく組み上げることで、これに成功したのです。5 日間にわたるイベントでは、当社の世界中の関係者との意味のある関わりを創出し維持するための、エキサイティングなプログラムを実行できました。」 - **マースペットケア社グローバル最高情報責任者、Miao Song 氏**

- 「当社とインフォシスのパートナーシップは非常に貴重であり、当社のイノベーション、中核事業の強化、事業の量的成長の管理、そしてお客様重視の施策がますますデジタル化する中でのサービスの向上を実現してくれるものです。インフォシスチームは当社の事業変革の目標を、効率性の推進とお客様体験の向上により支援してくれています。インフォシスはパンデミック期間中も優れたサポート力と柔軟性を発揮し、当社の事業の継続と揺るぎないお客様重視の施策の提供を支えてくれました。」 - **ポスティグループ最高情報責任者、Petteri Naulapää 氏**

4. 表彰

1. ウォールストリートジャーナルの 2021 List of 100 Most Sustainably Managed Companies in the World で上位 30 社にランクイン (2020 年の 94 位から躍進)
2. 米国 Ethisphere Institute が選ぶ World's Most Ethical Companies in 2021 に認定
3. Gartner Magic Quadrant for Data and Analytics Service Providers でリーダーの評価
4. HFS Top 10: Hyperscaler Cloud Service Providers 2021 でリーダーの評価
5. HFS Top 10: Digital Associates Services でリーダーの評価
6. NelsonHall 社の Salesforce Services 2020 の NEAT 調査でリーダーの評価
7. NelsonHall 社の SAP Cloud Migration Services 2021 の NEAT 調査でリーダーの評価
8. Constellation ShortList™の Microsoft End-to-End Service Providers でリーダーの評価
9. Constellation ShortList™の Blockchain Technology Services でリーダーの評価
10. Constellation ShortList™の Learning Marketplaces でリーダーの評価
11. Everest 社の Software Product Engineering Services PEAK Matrix® Assessment 2021 でリーダーの評価

12. Human Rights Campaign Corporate Equality Index for LGBTQI+ Inclusion で 100 ポイント
中 95 ポイントを獲得

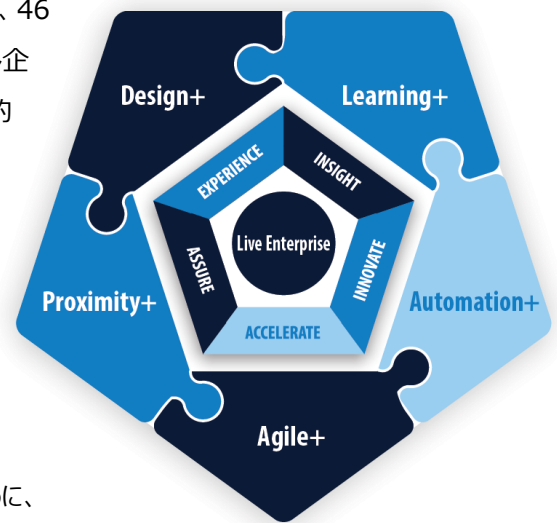
13. Sustainalytics 社による ESG Industry Top Rated Company の評価

14. 欧州、中東、アジア太平洋、北米の 20 か国で Top Employers Global 2021 に認定。15 か国で上位に
ランクイン。インド、アジア太平洋、中東地域で第 1 位を獲得。米国およびオーストラリアで上位 2 位にランクイ
ン。

インフォシス リミテッドについて

インフォシスは次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーで、46 か国のお客様のデジタル変革を実現しています。ほぼ 40 年に渡り、グローバル企業のシステムと業務を管理してきた経験から、お客様のデジタル変革に専門的な支援を提供します。たとえば AI による変更実行の優先順位付けを利用して企業がデジタル化を実現できるようにします。また、前例のない業績レベルを提供し、お客様に喜んでいただけるように大規模なアジャイルデジタルで業務を支援します。当社の絶えず学習するという方針に基づいて、革新エコシステムのデジタル技術、専門知識、アイデアが構築、伝達され、継続的な改善が推進されています。

DIGITAL NAVIGATION FRAMEWORK



リンク先 <http://www.infosys.com> では、企業が次のステージに進むために、インフォシス (NYSE: INFY) がどのように支援できるのかをご紹介します。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長と今後の配当、財務的期待、当社の従業員、顧客およびステークホルダーへの COVID-19 の影響を管理するための計画を予測するものであり、そこには多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクおよび不確定要素としては、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素、その拡散を抑制するための政府およびその他の対策の効果、インド、米国、世界のその他の国々の景気低迷や不況に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済環境の変化、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。将来の営業業績に影響すると考えられるその他リスクについては、2019 年会計年度年次報告書 (Form 20-F) を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。当社は、米国証券取引委員会および株主への報告書内の情報を含め、書面または口頭で将来の展望を随時発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

連絡先

投資関連 Sandeep Mahindroo
 +91 80 3980 1018

Sandeep_Mahindroo@infosys.com

メディア関連

Rishi Basu

+91 80 4156 3998

Rajarshi.Basu@infosys.com

Chiku Somaiya

+1 71367 06752

Chiku.Somaiya@infosys.com

お問い合わせ先

インフォシスリミテッド 日本支店

マーケティング本部長 安藤 jo_ando@infosys.com

インフォシス リミテッドと子会社

IFRS に基づく連結連結貸借対照表要約 (抜粋)

(100 万ドル)

	2021 年 3 月 31 日	2020 年 3 月 31 日
資産		
流動資産		
現金および現金等価	3,380	2,465
短期投資	320	615
売掛金	2,639	2,443
未請求収益	1,030	941
その他の流動資産	938	748
流動資産合計	8,307	7,212
非流動資産		
有形固定資産および使用権資産	2,519	2,361
のれんおよびその他無形資産	1,115	950
非短期投資	1,623	547
未請求収益	81	-
その他非流動資産	1,180	1,190
非流動資産合計	6,518	5,048
資産合計	14,825	12,260
負債および資本		
流動負債		
買掛金	362	377
前受収益	554	395
従業員給付債務	276	242
その他流動負債	2,072	1,743
流動負債合計	3,264	2,757
非流動負債		
リース負債	627	530
その他非流動負債	432	272
非流動負債合計	1,059	802
負債合計	4,323	3,559
親会社の所有者に帰属する持分合計	10,442	8,646
非支配持分	60	55
資本合計	10,502	8,701
負債および資本の合計	14,825	12,260

IFRS に基づく連結包括損益計算書要約 (抜粋) :

(100 万ドル、株式データおよび 1 株当たり純資産データを除く)

	2020 年度 第 4 四半期	2019 年度 第 4 四半期	2020 年度 通期	2019 年度 通期
売上収益	3,613	3,197	13,561	12,780
売上原価	2,357	2,133	8,828	8,552
売上総利益	1,256	1,064	4,733	4,228
営業費用:				
販売費	165	161	624	664

	2020 年度 第 4 四半期	2019 年度 第 4 四半期	2020 年度 通期	2019 年度 通期
管理費	207	229	784	840
営業費用合計	372	390	1,408	1,504
営業利益	884	674	3,325	2,724
その他の収益(純額) ⁽³⁾	68	78	271	371
税引前利益	952	752	3,596	3,095
法人所得税費用	255	160	973	757
純利益 (少数株主利益調整前)	697	592	2,623	2,338
純利益 (少数株主利益調整後)	697	590	2,613	2,331
基本 EPS (\$)	0.16	0.14	0.62	0.55
希薄化後 EPS (\$)	0.16	0.14	0.61	0.55

注:

1. 上記の情報は、2021年4月14日開催の取締役会で記録された2020年度第4四半期および2020年度通期の要約された監査済み連結貸借対照表および包括損益計算書から抜粋したものです。
2. 当社の業績に関する概況報告書はwww.infosys.comからダウンロードできます。
3. その他収益には財務費用を含みます。